

第56回 大阪母性衛生学会

学術集会・研修会プログラム

会 長 木村 正（大阪大学大学院医学系研究科産科婦人科 教授）
学術集会長 今中基晴（大阪市立大学大学院看護学研究科 教授）

<<研修会>>

日 時：平成29年12月17日（日）10：00～12：00

場 所：大阪大学中之島センター 10階ホール

テーマ：「重症脳性麻痺児の保育」

座 長：橘大介先生（大阪市立大学大学院医学研究科 産科婦人科 准教授）

演 者：「重度障害児保育園のある医療福祉ビル創設」

池下 久弥先生（医療法人社団 友久会 理事長

池下レディースチャイルドクリニック院長）

「あなたはわが子の死を願ったことがありますか」

佐々 百合子先生（市民団体「NAOのたまご」代表）

<<学術集会>>

日 時：平成29年12月17日（日）13：15～17：35

場 所：大阪大学中之島センター 10階ホール

参加費：2,000円（学生1,000円）

※平成29年度大阪母性衛生学会に未入会の方は、年会費1,000円（学生500円）を別途申受けます

※日産婦学会単位（10点）交付、日本専門医機構の学術集会参加単位（2単位）交付予定

後援：大阪産婦人科医会、大阪府看護協会、大阪府助産師会、OGCS看護師・助産師会

〈学会場案内図〉



※タクシーでお越しの際は、近隣施設や建物に中之島センタービル等類似した名称の建物がございますので、「**大阪市立科学館 北側の『大阪大学中之島センター』**」とお伝えください。

◆電車によるアクセス

京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約5分

阪神本線 福島駅より 徒歩約9分

JR東西線 新福島駅より 徒歩約9分

JR環状線 福島駅より 徒歩約12分

地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分

地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅より 徒歩約16分

※大阪大学中之島センターの正面玄関は中之島通に面しております。

10階建ての最上階がガラス張りで薄緑色に見える建物が大阪大学中之島センターです。

※駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮下さい。

Time Schedule

	時刻	会場（10階ホール）
研修会	9:55～10:00	オリエンテーション
	10:00～10:05	会長挨拶
	10:05～12:00	研修会
昼休憩	12:00～13:00	昼休憩
学術集会	13:15～13:20	学術集会長挨拶・オリエンテーション
	13:20～14:20	第1群(6題)
	14:20～15:20	第2群(6題)
	15:20～16:20	第3群(6題)
	16:20～17:30	第4群(7題)
	17:30～17:35	閉会挨拶

<学術集会>

学術集会長：今中 基晴（大阪市立大学大学院看護学研究科 教授）

第一会場 ○が発表者

第一群（6題）13:20～14:20

座長：小笹 幸子（聖バルナバ助産師学院）

1. A病院における新生児蘇生法スキルアップコース受講後の実態調査と今後の課題（第一報）
○山下かおり（独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立住吉市民病院 新生児・NICU 病棟）
2. 産痛緩和ケアニーズと分娩満足度との関連要因-初産・経産婦別の検討-
○倉野真衣・上田佳世・橋本富子・外村晴美（森ノ宮医療大学 保健医療学部看護学科）
3. 分娩介助時の助産師のマスク、ゴーグル着用状況調査と着用率向上の検討
○楠野英美・三谷由佳（地方独立行政法人 市立東大阪医療センター）
4. 大阪府助産師会 産前産後ケアセンター利用者の実態調査<第1報>-開院から2年間の利用状況と課題-
上田たつえ・川上好美・○田中陽子・馬場早富・大平純子・小山田浩子
（大阪府助産師会産前産後ケアセンター）
5. 大阪府助産師会 産前産後ケアセンター利用者の実態調査<第2報>-当センターで行っている母子支援より産前産後ケアセンターの役割を考える-
○上田たつえ・川上好美・田中陽子・馬場早富・大平純子・小山田浩子
（大阪府助産師会産前産後ケアセンター）

6. A病院総合周産期母子医療センター内院内助産所における分娩帰結の実態と分析

○野島奈明（社会医療法人愛仁会高槻病院）

第二群（6題）14：20～15：20

座長：油井 麻里（大阪大学医学部附属病院）

7. A病院における育児に関する電話相談内容の実態調査と今後の課題

○五代章子・山下かおり・小倉美利香（地方独立法人大阪市民病院機構 住吉市民病院）

8. 要養育支援情報提供の発生要因と背景の検討

○前美穂・亙理光子・木内美菜子・廣野みどり・上野宏美・勝藤久美子・江口美智子
谷口武（医療法人 定生会 谷口病院）

9. 不妊治療後の母親の母親役割獲得過程と支援についての文献検討

○青山加奈・川北明日香・川渕ひかり・上原麻利（畿央大学助産学専攻科）

10. 東大阪母子支援ネットワーク連絡会議の軌跡と成果

○山本ゆかり¹⁾・前田恵¹⁾・平野絢子¹⁾・田中弘子¹⁾・金英仙¹⁾・竹村秀雄¹⁾
薬師川厚子²⁾・津田真希²⁾・遠藤玲子²⁾（¹⁾小阪産病院²⁾ 東大阪市西保健センター）

11. 特別養子縁組の現状と課題 実親・養親へのかかわりを通して

○長谷川紀子・吉田直美・三崎美保
（地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立住吉市民病院 本館3階病棟）

12. 当院助産師のT市産後ケア訪問同行における評価～地域関連機関との連携～

○英都貴子（大阪医科大学附属病院 看護部）

第三群（6題）15：20～16：20

座長：増本 綾子（愛仁会 看護助産専門学校）

13. 産後うつ病における高年初産婦の特徴と支援についての文献検討

○佐藤美沙都・高瀬和・戸田千枝（畿央大学助産学専攻科）

14. 当院における産後2週間サポート事業から見てきた現状と課題

○高崎理奈・橋上英子・谷口 武（医療法人 定生会 谷口病院）

15. 妊娠中DVを受けた若年初産婦に対する妊娠期から産後にかけての看護介入の一考察

○浅田祥子・松浦和枝・高尾恭子（淀川キリスト教病院）

16. みんなで支える産後のこころ～産後うつ早期発見に向けて～

○山口香寿恵¹⁾・仲川千晴¹⁾・井口真知子¹⁾・小立まりこ¹⁾・山路杏奈¹⁾・隅陽子¹⁾
岡部直美¹⁾・東上和美¹⁾・亀谷英輝²⁾

（¹⁾大阪府済生会吹田病院産 婦人科病棟²⁾ 大阪府済生会吹田病院 産婦人科）

17. 妊娠期における夫婦関係と産後1か月のサポート

○森本佳奈¹⁾・小田雅美¹⁾・城内麻花¹⁾・玉田直子¹⁾・中野沙耶¹⁾・森田裕紀子¹⁾
三島裕香¹⁾・小笹幸子²⁾（¹⁾聖バルナバ助産師学院 99回生²⁾ 聖バルナバ助産師学院）

18. 妊娠中の運動が育児期における出産満足度・母性意識・自尊感情に与える影響の検討
—質問紙を用いた予備調査—

○友谷 公美・上田 彩加・外村 晴美・橋本 富子・上田 佳世
(森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科)

第四群 (7題) 16:20~17:30

座長: 宮川 祐三子 (大阪母子医療センター)

19. 骨盤ベルトを使用した骨盤支持における支援の文献検討

○山下夏美・高脇優衣・戸田千枝 (畿央大学助産学専攻科)

20. 青年期の避妊の現状とその心理に対する助産師の性教育の課題

○甲村弥生・塩原紗也夏・中居由美子 (畿央大学助産学専攻科)

21. 初妊婦の体重増加の認識と関連因子についての研究

○川村恭子¹⁾・信貴七海¹⁾・谷口夕美絵¹⁾・玉上麻美²⁾・和木明日香²⁾

(¹⁾大阪市立大学大学院 看護学研究科前期 博士課程²⁾ 大阪市立大学大学院看護学研究科)

22. 高校生の食生活と健康に関する意識と現状

○飯島彩喜江¹⁾・岩崎美紗紀¹⁾・影山貴子¹⁾・谷口由依¹⁾・松本美恵¹⁾・松浦奈央¹⁾

小笹幸子²⁾ (¹⁾聖バルナバ助産師学院 99 回生²⁾ 聖バルナバ助産師学院)

23. 妊娠中の旅行に対する当事者の意識

○西村紗弥花¹⁾・磯橋歩¹⁾・片岡茉莉那¹⁾・中川春香¹⁾・西窪りさ子¹⁾・益田亜澄¹⁾・龍幸那¹⁾

小笹幸子²⁾ (¹⁾聖バルナバ助産師学院 99 回生²⁾ 聖バルナバ助産師学院)

24. 超緊急帝王切開術 (グレード A) の院内システム構築後の課題 —ワーキンググループ発足と病棟内での取り組み—

○森村友貴¹⁾・宮越咲江¹⁾・草刈典子¹⁾・灘本武¹⁾・日南淳子¹⁾・英都貴子¹⁾・藤田太輔²⁾

寺井義人²⁾・大道正英²⁾

(¹⁾大阪医科大学附属病院 看護部²⁾ 大阪医科大学産婦人科学教室)

25. カード構造化法を用いた分娩期教授法に関する研究

○野原留美¹⁾・和木明日香²⁾・有馬美保³⁾・藤野百合¹⁾・浅見恵梨子¹⁾

(¹⁾千里金蘭大学看護学部²⁾ 大阪市立大学大学院看護学研究科³⁾ 関西医療大学保健看護学部)

企業展示（順不同）

大衛株式会社